第1786号

READAS
リーダァスクラブ

1994年1月6日創刊・毎日発行

リーダァスクラブFAXニュース

(2001年)平成13年 4月 17日 火曜日

発行所 株式会社 FPシミュレーション
大阪市中央区平野町3－1－10 Tel :06-6209-7678
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

♤ 平成１３年公示地価

Q：平成13年の公示地価が発表されたようですが、どのような状況でしょうか。

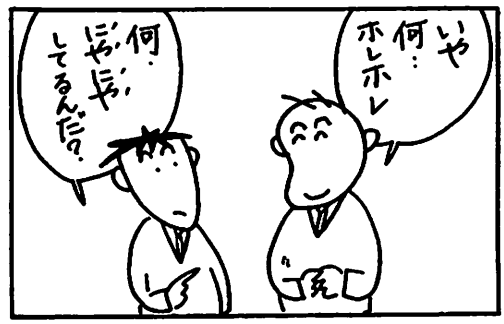
A：10年連続の下落となっています。

【解説】

公示地価は、国が地価公示法に基づいて毎年示す1月1日時点の全国の地価です。更地で通常の取引が行われた場合を前提とし、平成13年の調査地点は前年と同じ31,000地点です。

先月発表された平成13年公示地価は、長引く経済の低迷・不況を反映して、全国平均、3大都市圏平均とも10年連続の下落となりました。全国平均の前年比は住宅地4.2%、商業地7.5%の下落でしたが、東京圏22地点、名古屋圏7地点では上昇しています。交通の利便性や土地の収益力の格差によって二極化が一段と進行した結果となっています。

圏別にみると、東京圏の住宅地では、大半の地域で下落幅が縮小し、特に東京都、神奈川県及び埼玉県では全ての地域で下落幅が縮小しました。商業地は、茨城県では下落幅が拡大しましたが、それ以外の地域では下落幅が縮小しています。

大阪圏の住宅地は、奈良県で下落幅が縮小しましたが、それ以外の地域は下落幅が拡大しています。商業地では、半数以上の地域で下落幅が縮小しましたが、兵庫県では全ての地域で下落幅が拡大しました。

名古屋圏の住宅地は、半数以上の地域で下落幅が縮小し、商業地は、西三河地域で下落幅が拡大しましたが、それ以外の地域では下落幅が縮小しています。